

伊佐市立中学校再編成市民説明会（曾木校区）	
日 時	平成23年10月27日（木） 午後7時00分～午後8時30分まで
場 所	曾木小学校体育館
出席者	市長・副市長・教育長・企画調整課長・財政課長・建設課長・学校教育課長・事務局（5人） 参加者 39 人
<p>○ PTAの参加した協議会はいつ行われ、小学校のPTAもメンバーだったのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の3月から9月までの間計8回開催された。メンバーにはPTA代表、コミュニティ代表、学識経験者などが含まれ25人で構成された協議会。小学校のPTAもメンバーに入っていた。 <p>○ 平成25～26年にかけて交流学习を行うとあるが、具体的にどのような形になるのか。また、特別支援学級については、心のケアに努めるとあるが具体的なものがあれば教えて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的には24年に準備委員会の中で話し合っ25年から実施ということになるが、今の段階では例えば、交流学习、部活動、職場体験、生徒会、行事の共同実施などの交流を考えている。各学校の校長や教務の先生に集まってもらって不安をなくすよう努めたい。特別支援学級についても今の活動を更に活発にし、特別支援員の先生が現在21人いるが、その数を増やすとか、市のサポート体制との連携も考えている。 <p>学校だけで対応できないことについては、現在、伊佐市の方でスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談員を配置している。そのような支援員は再編による増員等も考えられるが、準備委員会の中で話し合っていくことになる。</p> <p>○ 再編時2・3年生は受験の時期でもあり、再編前に先生へいろいろと相談している状況も想定されるが、再編により離れてしまうことに不安を感じると思うので配慮をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再編の頃は教員の異動時期と重なるが、子どもたちに不安を与えない異動体制は作っていかなければならない。その前（準備期間）に3つの学校間でそれぞれの子供について進路希望など細かな情報交換を行い、情報を共有することで対応していきたい。 <p>○ 今の中学1・2年生に「もし、来年から大口中学校へ通うことになるとしたらどう考えるか。」とか生徒の生の声を聞いたことがあるのか。</p> <p>また、再編となれば子どもたちも不安になると思うので、子どもたちの声も聞いてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの声を聞いて再編成を行うということはしていない。教育委員会として子どもたちがより学びやすく、能力を伸ばすにはどのような環境を作るかということで再編成を考えている。子どもたちの意見も大切なので準備委員会の中で聞いていきたい。 	

- 登校などの不安も子どもたちは持っている。詳細なことが決定するのはいつの時点か。
 - ・準備委員会の7つの部会を説明しましたが、スクールバスの件もその部会で決定していくことになる。スクールバスの案も教育委員会では準備している。
 詳細は準備委員会で来年度に決定されると思うが、準備期間がその後2年あるのでその間に子どもたちに浸透させ、不安解消に努めていく。

- 編成時にはちょうど3年生になる子どもがいる。受験を控え不安。子どもの特性を把握しケアしてもらえるのか。また、編成によって多くの子どもたちの中に入れていくことになるが、今以上の支援体制は可能なのか。
 - ・子どもたちの1・2年生の時の記録が新しい学校にスムーズに送れる体制はとっていく。人事面ではハッキリとは言えないが教育長として出来得る限りの努力をしたい。それぞれの学校の長所をとって今以上に良い学校づくりを目指す。不安はあると思うので遠慮なく学校へ相談して欲しい。

- 制服（特にセーラー服）は再編により2回購入しなければならない。また、自転車通学のために購入したがバス通学になるので要らないとか、金銭的な問題も生じてくるが、助成とかの考えはないのか。
 - ・現在の時点では、保護者に経済的負担を強いるので、27年度では1年生は新制服、2・3年生は旧中学校の制服ということで混在を考えている。準備委員会で決定していく。
 2点目の自転車の件だが、（特に助成は考えていない）遠距離通学への補助などは行っていく。

- 生徒が大口中央中か菱刈中いずれかを選択できるのか。
 - ・当初の計画では西太良地区は菱刈中ということであったが、それぞれの意見があり現在の形になった経緯がある。市長としての意見ですが、合併によって、今後は生活圏内の変化があるかもしれないので、最初からという訳ではなく、将来的には通学に関して柔軟に考える方が良いと思っている。本来は、伊佐市に2つぐらい中学校があった方が切磋琢磨して良い。（2クラスが維持できれば）今回、10箇所説明会に回るので皆さんの悩みがわかる。今後は身近にいる先生方に悩みや考えを伝える体制を作っていきたい。これは教育委員会へ強要はできない市長としての考えである。

- 先生たちには言わないし、知られていないイジメがあるのでその対応もしっかりとやってもらいたい。
 - ・イジメが無いということはある得ないという発想で行かなければならない。回りのことを気にせず気軽に相談できる体制をつくるよう対応していく。
 再編が決定したら、教員がまず勉強しなければならないと思っている。再編も急に行えば子どもたちにとってはプレッシャーでしかないが、何年も前からわかっている。教員はそれを見越して子どもたちを育てて再編成を迎えることが仕事だと思うので指導していきたい。

- 5年後もこの体制を維持していけるのか。このような（市民説明会での）生の意見を聞いて熱い思いで再編までやってくれるのか。
 - ・できればそのようにしていきたいが、役所の仕組みでは無理がある。ただ、今行っていることはその質を落とすことなく、たとえ人が替わったとしても教育委員会でも最重要課題としてまた、子どもたちにとっての重要なこととして熱を冷ますことなく捉えていきたい。

- スクールバスは出すということだが、ルートについては親の意見を聞いてもらえるのか。
 - ・教育委員会で案はあるが、準備委員会にたたき台として出す。準備委員会ではPTAの方も参加されるのでその中で意見を反映していく。

- 要望として聞いてもらいたい、交流学习の中に部活動の交流も是非入れて欲しい。在校生であれば特に団体競技では、既にできているチームの中に入るのは難しい。準備期間なので違う学校の生徒ではあるが、その子の特徴などを先生に知ってもらって新チームをスタートさせる体制にして欲しい。
 - ・交流学习では当然、部活動の交流も入っている。子どもたちだけではなく教師も子どもたちを知るという活動も含めて多方面からの交流を考えている。

- 今回の説明会は有意義だと思うが、議事録はきちんと残して準備委員会などに示してもらいたい。人が変わっても議事録があればしっかりとできると考えるのでお願いしたい。
 - ・定年を迎える職員は仕方がないが、他の職員に対しましてはできるだけ長く携われるように配慮していく。そのためにも議事録は最初から録っているので示していきたい。

- 教育方針に生きる力をつけるとか伊佐を誇りに思えるとかあるが、昔からの行事とかの時間が削られていると感じる。学力だけでなく交流ということなど義務教育の間にいろいろな経験も必要だと思うので、そういう授業体制もとっていただき有意義な中学校生活にしてもらいたい。

終了